

事 務 連 絡
平 成 2 7 年 1 2 月 1 7 日

公益財団法人原子力安全技術センター 御中

文 部 科 学 省
研究開発局研究開発戦略官
(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	リスクコミュニケーターの人材育成に向けた研修
実施機関	公益財団法人原子力安全技術センター
実施期間	平成24年度～平成26年度

【評価結果】

B	ほぼ計画通りの成果があげられた
---	-----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

- リスクコミュニケーターの裾野拡大を目的とし、アンケート結果等に基づくPDCA サイクルを回しながら教員やPTA等を対象とした研修を整備した点が評価できる。今後、参加者の知識理解の定着のみならず、学校現場での活用等といった良い波及効果がもたらされることを期待する。
- 参加者が、研修後も継続して情報発信等ができるプラットフォームを構築したことは評価できる。今後も、放射線に関する情報の積極的な発信に努めるとともに、整備したプラットフォーム等を通じて、本事業の参加者が継続して意見・情報交換等が行えるよう、コミュニティの維持・拡大に努めていただきたい。

＜今後への参考意見＞

●参加者の募集を積極的に行っていたが、参加実績が当初の計画を下回った点が残念である。事業実施側の顔が、一般の方にうまく伝わっていない等の理由が考えられる。今後は研修対象者の明確化・ニーズの把握に努めるとともに、募集方法の改善や他のイベントとの併催等を検討しながら、引き続き事業の継続に努めていただきたい。

●リスクコミュニケーターの人材育成には、放射線の人体影響についての深い理解が不可欠である。引き続き、放射線の人体影響に関する時間の確保・内容の充実に努めていただきたい。